

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506号

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースだが、特に「読む」と「聞く」に重点を置く。視聴覚教材を活用し、ナチュラル・スピードで話される英語を理解する力を養成する。英語学習の基本としての辞書の引き方を確認する。基本的文法事項としては、名詞、代名詞、冠詞、形容詞、動詞、時制、進行形、完了形、助動詞、不定詞、動名詞、分詞、副詞、前置詞、接続詞、受動態、仮定法などについて改めて学習する。

【教科書】

最初の授業で指示する。

【成績の評価方法と評価項目】

最初の授業で説明する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

野中 辰也

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

毎時間、主に以下の項目について解説・演習を行なう。

- 1) 速読練習
- 2) 辞書指導・基礎文法解説
- 3) 多読作業

【教科書】

未定(授業開始時に指示する)
辞書必携(留意事項を参照)

【参考書】

- 1) 『理系のためのサバイバル英語入門』
東大サバイバル英語実行委員会著 講談社ブルーバックスB1109
- 2) The Daily Yomiuri(日刊英字新聞)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) テスト(40%) : 学期末に実施。
- 2) レポート1(40%) : 毎授業中のレポート提出数および内容。
- 3) レポート2(20%) : 指定した速読教材の要約文(毎回の宿題)。
- 4) 出席: 遅刻・欠席は減点対象とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
毎時間、英和辞典を持参すること。新規購入の際には以下の3点を推薦する。
『ジーニアス英和辞典』大修館書店
『ライトハウス英和辞典』研究社
『(プログレッシブ)英和中辞典』小学館

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503

【授業目的及び達成目標】

英語学習の4技能である「聞く、話す、読む、書く」のうちの、主に「読む」力を養うことを目標とする。また教科書、プリントを用い「聞く」力も身に付ける努力をする。

【授業キーワード】

読解、文法、書き取り、科学英語

【授業内容及び授業方法】

アメリカ政府の放送であるVOA (Voice of America) で放送された題材を扱った教材を用いる。まずそれぞれの題材について書かれた簡単な文章を読み、文法事項(不定詞、動名詞、関係詞、完了形等)の理解の確認を行い、内容把握に努める。さらに内容についての書き取りなどの練習問題を行う。教科書の中の主に科学に関連した内容のものを扱う。さらにプリントを用い、内容は簡単だが自然な英語で書かれたニュースの書き取りを行う。

【授業項目】

以下の題材を扱う。

Television and Violence

Left-handed People and Accidents

Weather and Depression

Xerography

Emotionally Secure Babies

Feelings and Facial Expressions

Benefits of Exercises

Dangers of Space Junk

Computer Viruses

【教科書】

VOA and Grammar (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

【留意事項】

授業には英和辞典、科学記事を読むのである程度の語数があるものを必ず持って来ること。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

英語で考えることに慣れ、表現上の自信をつけることを目標とする。

【授業キーワード】

Thinking in English, Problem Solving Skills, Simple and Clear Expressions

【授業内容及び授業方法】

具体的な状況において可能な限り単純で明快な記述・説明をするために必要となる Problem Solving Skills の習得を通して、英語で考え、表現するための基礎を学ぶ。相手にその意味が理解されるまで、自分の言語表現を修正・改良するプロセスを学ぶ。授業は、主としてペアワークとグループワークによって行われる。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【教科書】

未定

【成績の評価方法と評価項目】

最初の授業で、各担当教官が説明する。
定期試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などで評価する。

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

(非常勤講師)

【授業目的及び達成目標】

ビデオテープ、音声テープ、テキストが一体となったマルチメディア型LL教材を用い、日常生活で使われる authentic Englishを学んでいく。特に、聞く力、話す力の向上を目指す。

【授業キーワード】

聴解、スピーキング、イギリス文化

【授業内容及び授業方法】

13世紀から現代社会に突如現れたWilliamが引き起こすドラマを毎回視聴する。音声テープとテキストによる様々なタスクを行い、聴解力、表現力の養成を図る。また、イギリス文化の紹介記事を読み、ドラマの文化的背景についても学ぶ。

【授業項目】

第1週	Prologue
第2週	Unit 1: Beware of William!
第3週	Unit 2: A High Ceiling
第4週	Unit 3: Does the End Justify the Means?
第5週	Quiz 1, Unit 4: Jeopardizing Interim
第6週	Unit 5: Nag, Nag, Nag!
第7週	Unit 6: A Big Hit
第8週	Quiz 2, Unit 7: Fresh Blood
第9週	Unit 8: Like Clockwork
第10週	Unit 9: Hereby
第11週	Quiz 3, Unit 10: Dressed to Kill
第12週	Unit 11: A Cock-and-Bull Story
第13週	Unit 12: Fired
第14週	Quiz 4, Unit 13: Larry Has Pushed His Luck
第15週	Final Exam

【教科書】

Cousin William (3), 大八木廣人・黄金井健夫・滝本晴男・田浦昌子・James House(共編), 成美堂

【参考書】

Oxford Wordpower 英英辞典

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度--30%、小テスト--20%、最終試験--50%

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506号

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースだが、特に「読む」と「聞く」に重点を置く。視聴覚教材を活用し、ナチュラル・スピードで話される英語を理解する力を養成する。英語学習の基本としての辞書の引き方を確認する。基本的文法事項としては、名詞、代名詞、冠詞、形容詞、動詞、時制、進行形、完了形、助動詞、不定詞、動名詞、分詞、副詞、前置詞、接続詞、受動態、仮定法などについて改めて学習する。

【教科書】

最初の授業で指示する。

【成績の評価方法と評価項目】

最初の授業で説明する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

野中 辰也

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

毎時間、主に以下の項目について解説・演習を行なう。

- 1) 速読練習
- 2) 辞書指導・基礎文法解説
- 3) 多読作業

【教科書】

未定(授業開始時に指示する)
辞書必携(留意事項を参照)

【参考書】

- 1) 『理系のためのサバイバル英語入門』
東大サバイバル英語実行委員会著 講談社ブルーバックスB1109
- 2) The Daily Yomiuri(日刊英字新聞)

【成績の評価方法と評価項目】

- 1) テスト(40%) : 学期末に実施。
- 2) レポート1(40%) : 毎授業中のレポート提出数および内容。
- 3) レポート2(20%) : 指定した速読教材の要約文(毎回の宿題)。
- 4) 出席: 遅刻・欠席は減点対象とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
毎時間、英和辞典を持参すること。新規購入の際には以下の3点を推薦する。
『ジーニアス英和辞典』大修館書店
『ライトハウス英和辞典』研究社
『(プログレッシブ)英和中辞典』小学館

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503

【授業目的及び達成目標】

英語学習の4技能である「聞く、話す、読む、書く」のうちの、主に「読む」力を養うことを目標とする。また教科書、プリントを用い「聞く」力も身に付ける努力をする。

【授業キーワード】

読解、文法、書き取り、科学英語

【授業内容及び授業方法】

アメリカ政府の放送であるVOA (Voice of America)で放送された題材を扱った教材を用いる。まずそれぞれの題材について書かれた簡単な文章を読み、文法事項(不定詞、動名詞、関係詞、完了形等)の理解の確認を行い、内容把握に努める。さらに内容についての書き取りなどの練習問題を行う。教科書の中の主に科学に関連した内容のものを扱う。さらにプリントを用い、内容は簡単だが自然な英語で書かれたニュースの書き取りを行う。

【授業項目】

以下の題材を扱う。

Weather and Depression

Xerography

Emotionally Secure Babies

Feelings and Facial Expressions

Benefits of Exercises

Dangers of Space Junk

Computer Viruses

【教科書】

VOA and Grammar (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

【留意事項】

授業には英和辞典、科学記事を読むのである程度の語数があるものを必ず持って来ること。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

英語で考えることに慣れ、表現上の自信をつけることを目標とする。

【授業キーワード】

Thinking in English, Problem Solving Skills, Simple and Clear Expressions

【授業内容及び授業方法】

具体的な状況において可能な限り単純で明快な記述・説明をするために必要となる Problem Solving Skills の習得を通して、英語で考え、表現するための基礎を学ぶ。相手にその意味が理解されるまで、自分の言語表現を修正・改良するプロセスを学ぶ。授業は、主としてペアワークとグループワークによって行われる。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【教科書】

未定

【成績の評価方法と評価項目】

最初に授業で、各担当教官が説明する。
定期試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などで評価する。

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

(非常勤講師)

【授業目的及び達成目標】

ビデオテープ、音声テープ、テキストが一体となったマルチメディア型LL教材を用い、日常生活で使われる authentic Englishを学んでいく。特に、聞く力、話す力の向上を目指す。

【授業キーワード】

聴解、スピーキング、イギリス文化

【授業内容及び授業方法】

13世紀から現代社会に突如現れたWilliamが引き起こすドラマを毎回視聴する。音声テープとテキストによる様々なタスクを行い、聴解力、表現力の養成を図る。また、イギリス文化の紹介記事を読み、ドラマの文化的背景についても学ぶ。

【授業項目】

第1週	Prologue
第2週	Unit 1: Bull's Eye
第3週	Unit 2: A Nobody
第4週	Unit 3: A Wide Public
第5週	Quiz 1, Unit 4: Glory and Fame
第6週	Unit 5: Rolling, Action, Cut!
第7週	Unit 6: We'll Have a Great Time!
第8週	Quiz 2, Unit 7: Man of the Week
第9週	Unit 8: Larry Deserves It
第10週	Unit 9: The Spiritual Father
第11週	Quiz 3, Unit 10: Born Yesterday
第12週	Unit 11: Larry Takes Advantages of the Situation
第13週	Unit 12: The Peacemakers
第14週	Quiz 4, Unit 13: A New Man
第15週	Final Exam

【教科書】

Cousin William (4), 大八木廣人・黄金井健夫・滝本晴男・田浦昌子・James House(共編), 成美堂

【参考書】

Oxford Wordpower 英英辞典

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度--30%、小テスト--20%、最終試験--50%

【担当教員】

田中 章

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aims of this course are:

- to increase student recognition of technical vocabulary they will need for future study
- to increase students fluency in the 4 skill areas
- to provide students with techniques which they can use independently to improve their English listening skills
- to encourage the students to use the internet in English

【授業内容及び授業方法】

In this class we will get practice answering content questions based on high interest science and technology segments from various Discovery Channel programs. Topics will include technological advancements, natural disasters, student inventions and the human brain. We will try pair coaching to practice new vocabulary.

We will use timed pair conversations and topic writing, songs, and current news articles to increase fluency.

【教科書】

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

【成績の評価方法と評価項目】

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% - a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

【留意事項】

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

【授業キーワード】

読解、語彙、英英辞典、音

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。様々なトピック(科学や文化)に関する文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)と英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

【授業項目】

第1週	Introduction
第2週	英英辞典の活用法(1)
第3週	英英辞典の活用法(2)
第4週	Unit 1: Mrs. Winchester's house
第5週	Unit 2: Lern simpul speling
第6週	Unit 3: UFOs
第7週	Unit 4: Baseball
第8週	Quiz
第9週	Unit 5: Houdini
第10週	Unit 6: Going up
第11週	Unit 7: Airlines
第12週	Unit 8: The red planet
第13週	Unit 9: The Pentagon
第14週	Review
第15週	Final Exam

【教科書】

- (1) New Century Readers Level 4, Ken Methold・Heather Jones・Naomi Waterman(共編), MacmillanLanguagehouse
- (2) WORD POWER 3000, L. A. Hill, Oxford University Press
- (3) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度--30%、小テスト--20%、最終試験--50%

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学・経営情報 1号棟503

【授業目的及び達成目標】

コンピュータ関連の簡単な本が読め、理解するのが、この授業の目的である。授業で基礎的な概念、用語の理解を図る。

【授業キーワード】

コンピュータ英語

【授業内容及び授業方法】

コンピュータを扱った簡単なテキスト、プリントを使用する。テキストでは、まず最初CPUなど基本的な概念について説明してある文章を読み、その後、その文章に出てきた用語を理解する。さらにこれらの概念、用語に関する穴埋め、true/false等の練習問題を行い、理解を確実なものとする。なお、CPU、メモリーなどは実物を見ながら理解をしやすいとする。また、随時プリントを用い、教科書に出ている以外の、インターネット関連等の重要と思われる概念、用語の理解に努める。なお、1度実際図書館のコンピュータを用い、ブラウザ、ワープロを使う練習をする。

【授業項目】

Unit 1 Introduction
Unit 2 Types of Computers
Unit 3 The Computer's Brain (CPU)
Unit 4 Memory
Unit 5 Mass Storage
Unit 6 Input
Unit 7 Output
Unit 8 System and Application Software
Unit 9 Programming
Unit 10 Word Processing
Unit 11 Database and Spreadsheet
Unit 12 Communications

【教科書】

Basics in Technical English (松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末テストが7割とする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持って来ること。

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

It should be borne in mind that this syllabus is highly susceptible to change, given the Instructor's in the importance and central values of a learner-centered approach in which learner autonomy is a guiding principle and ultimate goal. Accordingly, students will be asked—indeed, required—to contribute significantly in shaping the content and character of the class—from the identification of needs and goals to the selection of appropriate and relevant topics, tasks, and assessment vehicles. However, given the aims of the class as stated by the department—i.e., a focus on reading and speaking—this instructor believes that a discussion-based format may best serve the goals of the course. In this format, focus will be placed on weekly readings in one or more topics of interest to the students, and the flow of classroom activity will stem from these readings.

【授業内容及び授業方法】

Classroom assessment will be based in large part on student participation—including peer interaction, which the instructor envisions as extending beyond traditional discussion to include peer review and assistance. In this manner, it is hoped that all members of the class will contribute to the creation of a “community of learners” with its own unique character, interests, goals, and dominant modes of interaction. In this paradigm, the instructor will be no less of a learner than the students, and emphasis will be placed on facilitation over instruction. For example, the instructor will ideally take on the role of moderator in discussions generated and propelled by the students themselves. He will also offer suggestions and information, where appropriate, relating to the potential use of learner strategies—for example, the use of clarifying questions in conversation; identifying one's audience and answering the so-called “reporter's formula” questions (Who? What? When? Where? Why? How?) in writing; and anticipating the gist of passages through focus on transitional phrases in reading. Finally, in keeping with the spirit of learner-centered pedagogy, this instructor will entertain and address any and all questions relating to English usage and grammar on an ongoing and fluid basis, through the collection of student questions at the end of each class and the selection of the most popular questions for discussion and instruction in subsequent classes.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not be limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

Although the instructor has hopes of broadening student horizons and creating an atmosphere in which curiosity about the world around us is fostered, he also understands that students may have more immediate and specific concerns relating to their areas of study. Thus, he is willing to create jointly with the students a syllabus in which issues of particular interest to the scientific community are given the highest priority. Sources may include on-line academic journals as well as the most recent hard-copy issues of magazines such as, e.g., Scientific American. Additionally, if there is sufficient interest, students may be encouraged to draft possible editorial contributions to such journals, particularly after they have been exposed to a number of examples of such writing.

One characteristic of the syllabus that this instructor is contemplating would have the semester divided into two sections of 6 weeks or so. In the first half, students would be exposed to a series of articles of general interest, and class discussions would be organized around weekly themes. The main means of assessment during this portion of the semester would be a series of debates, the rhetoric of which would have been clarified for students during these first weeks. In the latter portion of the semester, examples of scientific writing would provide the impetus for class discussions and would provide a basis for students to author their own short articles, culminating in presentations that would be the major means of assessment during that time.

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506号

【授業目的及び達成目標】

リスニング能力を高め、ニュース英語の理解力を涵養することがこの授業の目的である。ナチュラル・スピードで話される英語ニュースへの違和感をなくすことが具体的な目標である。

【授業キーワード】

ニュース英語

【授業内容及び授業方法】

米国の四大テレビ・ネットワークの一つであるABCのワールド・ニュースを集めた新教科書を使用する。これは視聴覚教材付きであり、各トピックごとに①ビデオを見る②ボキャブラリーを学習する③教科書の本文の購読④練習問題⑤最後に再びビデオを見る、という流れで授業を進めていく。また、これとは別に授業の初めに毎回、簡単なリスニング・テストを行う。

【教科書】

ABC World News(4)金星堂

【成績の評価方法と評価項目】

総合点の内訳は、教科書本文の和訳(辞書使用不可)の得点を50%、先生が選ぶ英字新聞の記事の和訳(辞書使用可)の得点を25%、リスニング・テストの平均点(最後の三回)を25%とする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持ってくること

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

前期 Chapter 4, 6, 7

後期 Chapter 8, 15, 18

【教科書】

田吹 昌俊/Robert Long (共著)「健康と環境問題を考える」成美堂

【成績の評価方法と評価項目】

本試験の点数と平常点を加味する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典も持参のこと。

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aims of this course are:

- to increase student recognition of technical vocabulary they will need for future study
- to increase students fluency in the 4 skill areas
- to provide students with techniques which they can use independently to improve their English listening skills
- to encourage the students to use the internet in English

【授業内容及び授業方法】

In this class we will get practice answering content questions based on high interest science and technology segments from various Discovery Channel programs. Topics will include technological advancements, natural disasters, student inventions and the human brain. We will try pair coaching to practice new vocabulary.

We will use timed pair conversations and topic writing, songs, and current news articles to increase fluency.

【教科書】

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

【成績の評価方法と評価項目】

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% - a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

【留意事項】

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

【授業キーワード】

読解、語彙、英英辞典、音読

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。様々なトピック(科学や文化)に関する文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)と英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

【授業項目】

第1週	Unit 10: Lemmings
第2週	Unit 11: Astrology
第3週	Unit 12: Thumbs up!
第4週	Unit 13: Tutankhamen's tomb
第5週	Unit 14: Detective stories
第6週	Unit 15: Pasta
第7週	Quiz
第8週	Unit 16: Pirates
第9週	Unit 17: Agatha Christie saves a life
第10週	Unit 18: False teeth
第11週	Unit 19: Diamonds
第12週	Unit 20: Galileo
第13週	Review
第14週	Review
第15週	Final Exam

【教科書】

- (1) New Century Readers Level 4, Ken Methold・Heather Jones・Naomi Waterman(共編), Macmillan Languagehouse
- (2) WORD POWER 3000, L. A. Hill, Oxford University Press
- (3) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度--30%、小テスト--20%、最終試験--50%

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学・経営情報1号棟503

【授業目的及び達成目標】

コンピュータ関連の簡単な本が読め、理解するのが、この授業の目的である。授業で基礎的な概念、用語の理解を図る。

【授業キーワード】

コンピュータ英語

【授業内容及び授業方法】

コンピュータを扱った簡単なテキスト、プリントを使用する。テキストでは、まず最初CPUなど基本的な概念について説明してある文章を読み、その後、その文章に出てきた用語を理解する。さらにこれらの概念、用語に関する穴埋め、true/false等の練習問題を行い、理解を確実なものとする。なお、CPU、メモリーなどは実物を見ながら理解をしやすいとする。また、随時プリントを用い、教科書に出ている以外の、インターネット関連等の重要と思われる概念、用語の理解に努める。なお、1度実際図書館のコンピュータを用い、ブラウザ、ワープロを使う練習をする。

【授業項目】

- Unit 1 Introduction
- Unit 2 Types of Computers
- Unit 3 The Computer's Brain (CPU)
- Unit 4 Memory
- Unit 5 Mass Storage
- Unit 6 Input
- Unit 7 Output
- Unit 8 System and Application Software
- Unit 9 Programming
- Unit 10 Word Processing
- Unit 11 Database and Spreadsheet
- Unit 12 Communications

【教科書】

Basics in Technical English (松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持って来ること。

【担当教員】

石岡・ドライアー

【授業目的及び達成目標】

It should be borne in mind that this syllabus is highly susceptible to change, given the Instructor's in the importance and central values of a learner-centered approach in which learner autonomy is a guiding principle and ultimate goal. Accordingly, students will be asked—indeed, required—to contribute significantly in shaping the content and character of the class—from the identification of needs and goals to the selection of appropriate and relevant topics, tasks, and assessment vehicles. However, given the aims of the class as stated by the department—i.e., a focus on reading and speaking—this instructor believes that a discussion-based format may best serve the goals of the course. In this format, focus will be placed on weekly readings in one or more topics of interest to the students, and the flow of classroom activity will stem from these readings.

【授業内容及び授業方法】

Classroom assessment will be based in large part on student participation—including peer interaction, which the instructor envisions as extending beyond traditional discussion to include peer review and assistance. In this manner, it is hoped that all members of the class will contribute to the creation of a “community of learners” with its own unique character, interests, goals, and dominant modes of interaction. In this paradigm, the instructor will be no less of a learner than the students, and emphasis will be placed on facilitation over instruction. For example, the instructor will ideally take on the role of moderator in discussions generated and propelled by the students themselves. He will also offer suggestions and information, where appropriate, relating to the potential use of learner strategies—for example, the use of clarifying questions in conversation; identifying one's audience and answering the so-called “reporter's formula” questions (Who? What? When? Where? Why? How?) in writing; and anticipating the gist of passages through focus on transitional phrases in reading. Finally, in keeping with the spirit of learner-centered pedagogy, this instructor will entertain and address any and all questions relating to English usage and grammar on an ongoing and fluid basis, through the collection of student questions at the end of each class and the selection of the most popular questions for discussion and instruction in subsequent classes.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not be limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

Although the instructor has hopes of broadening student horizons and creating an atmosphere in which curiosity about the world around us is fostered, he also understands that students may have more immediate and specific concerns relating to their areas of study. Thus, he is willing to create jointly with the students a syllabus in which issues of particular interest to the scientific community are given the highest priority. Sources may include on-line academic journals as well as the most recent hard-copy issues of magazines such as, e.g., Scientific American. Additionally, if there is sufficient interest, students may be encouraged to draft possible editorial contributions to such journals, particularly after they have been exposed to a number of examples of such writing.

One characteristic of the syllabus that this instructor is contemplating would have the semester divided into two sections of 6 weeks or so. In the first half, students would be exposed to a series of articles of general interest, and class discussions would be organized around weekly themes. The main means of assessment during this portion of the semester would be a series of debates, the rhetoric of which would have been clarified for students during these first weeks. In the latter portion of the semester, examples of scientific writing would provide the impetus for class discussions and would provide a basis for students to author their own short articles, culminating in presentations that would be the major means of assessment during that time.

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506号

【授業目的及び達成目標】

リスニング能力を高め、ニュース英語の理解力を涵養することがこの授業の目的である。ナチュラル・スピードで話される英語ニュースへの違和感をなくすことが具体的な目標である。

【授業キーワード】

ニュース英語

【授業内容及び授業方法】

米国の四大テレビ・ネットワークの一つであるABCのワールド・ニュースを集めた新教科書を使用する。これは視聴覚教材付きであり、各トピックごとに①ビデオを見る②ボキャブラリーを学習する③教科書の本文の購読④練習問題⑤最後に再びビデオを見る、という流れで授業を進めていく。また、これとは別に授業の初めに毎回、簡単なリスニング・テストを行う。

【教科書】

ABC World News(4)金星堂

【成績の評価方法と評価項目】

総合点の内訳は、教科書本文の和訳(辞書使用不可)の得点を50%、先生が選ぶ英字新聞の記事の和訳(辞書使用可)の得点を25%、リスニング・テストの平均点(最後の三回)を25%とする。

【留意事項】

授業には中型の英和辞典を必ず持ってくること

【担当教員】

村上・ドライアー、Ota Angela(太田アンジェラ)、(未定)

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、能力に応じた全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文

【授業内容及び授業方法】

授業内容及び授業方法:能力別クラス編成を行い、基礎クラスでは、基本的語彙(2000語レベル程度)と文法構造の把握に基づいて読解力を養成し、併せて基本的なリスニング能力と短文の作文能力も養成する。上級クラスではより難易度の高い語彙、文法構造を学習し、ある程度まとまった文章を読解する。サマリーライティングなどを通し、作文力も養成する。毎日宿題が課される。

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる2コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村上・ドライアー、Ota Angela(太田アンジェラ)、(未定)

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、能力に応じた全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文

【授業内容及び授業方法】

授業内容及び授業方法:能力別クラス編成を行い、基礎クラスでは、基本的語彙(2000語レベル程度)と文法構造の把握に基づいて読解力を養成し、併せて基本的なリスニング能力と短文の作文能力も養成する。上級クラスではより難易度の高い語彙、文法構造を学習し、ある程度まとまった文章を読解する。サマリーライティングなどを通し、作文力も養成する。毎日宿題が課される。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【教科書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【参考書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などにより総合的に評価

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる2コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村上・ドライアー、Ota Angela(太田アンジェラ)、(未定)

【授業目的及び達成目標】

選択科目であり、能力に応じた全般的な英語力の伸長を目標とする。

【授業キーワード】

語彙、文法構造、読解、英作文

【授業内容及び授業方法】

授業内容及び授業方法:能力別クラス編成を行い、基礎クラスでは、基本的語彙(2000語レベル程度)と文法構造の把握に基づいて読解力を養成し、併せて基本的なリスニング能力と短文の作文能力も養成する。上級クラスではより難易度の高い語彙、文法構造を学習し、ある程度まとまった文章を読解する。サマリーライティングなどを通し、作文力も養成する。毎日宿題が課される。

【授業項目】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【教科書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【参考書】

最初の授業で、各担当教官が提示する。

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、小テスト、レポート(宿題)、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

1月中旬から下旬にかけて、約8日間、毎日2コマ、集中的に行う。実施時期が異なる2コースを開講予定。なお、この科目は一定の条件に基づき、欠落単位の代替単位とすることができる。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、辞書のひき方、品詞、5文型、文法の基本(進行形、完了形、受動態、不定詞、分詞、動名詞、助動詞、関係詞等)を演習形式で学ぶ。(2) 聞くことに関しては、平易な内容であるが自然に話されたニュースの書き取りを行う。(3) 話す、書く技能については簡単な自己紹介を行うことにより学習する。

【教科書】

A Guide to Effective Reading (金星堂)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学・経営情報1号棟509

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞(3回)
7. 動名詞(1回)

【教科書】

小中秀彦: 大学生のための基礎英文法, 成美堂
プリント

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-50%, 小テスト-20%, 各自が作成する単語帳からのテスト-20%, レポート-10%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。単語帳の Format は、初回の授業で指示する。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506号

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

地球環境問題に関連した英文を読む。また、毎回の授業の初めに簡単なリスニング・テストを行う。

【教科書】

Our World (1) Protecting the environment
世界のジャーナリストが語る環境問題の現状
発行所 マクミラン・ランゲージ・ハウス

【成績の評価方法と評価項目】

評価点は期末に行う①教科書本文の和訳(辞書使用不可)、②応用問題として先生が選ぶ科学読み物の和訳(辞書使用可)と③リスニング・テストの合計とし、割合は①が50%、②が25%、③が25%とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

The first half of this course, topics and themes that are of interest to students will be provided. The topics which are particularly interesting to students will be identified. Students must then start a project on their chosen topic to improve their four skills of reading, writing, speaking and listening. Finally, once the students have prepared their topics, the class will move onto the discussion phase of the course.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based in large part on general participation in the class.

【留意事項】

Placement Test により、受講クラスが決定される。

【担当教員】

Valerie. McGown (ヴァレリー マクガウン)

【教員室または連絡先】

経営情報系棟404号室

【授業目的及び達成目標】

Comprehension, listening, speakingを中心に、英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。英語で聞き、英語で答える力の養成を目指す。

【授業キーワード】

comprehension, listening, speaking, 文法構造、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特にcomprehension, listening, speakingに力点がおかれる。このスキルを強くするための基礎力養成をめざして、発音の練習、spelling、語彙、文法構造、等を学習する。

【教科書】

Tuseth, Tony, Hiroto Ohyagi and Hironori Koyama
"Basics in Technical English" Newbury House/ Shohakusha.

【成績の評価方法と評価項目】

宿題:30%
クラステスト:30%
末期テスト:40%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

田中 章

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する

【授業項目】

前期 第3, 8, 9章

後期 第11, 15, 19章

【教科書】

瀬谷 幸男/高津 昌宏/平井 清子/和治元 義博/デイビッド・ブルックス(共著)「明日を拓く科学の夢」南雲堂

【成績の評価方法と評価項目】

本試験の点数と平常点を加味する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

【担当教員】

早川 正子

【教員室または連絡先】

語学センター事務室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週－第14週

To read, listen, talk about, and write about a variety of scientific articles from newspapers, periodicals, etc.

第15週 期末試験

【教科書】

購入は不要。毎回プリント教材を配布する。

【参考書】

毎回、辞書を必ず持参すること。

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト 50%

期末試験 50%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

隅田 朗彦

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

高橋 美智子

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

- 第1週 Introduction, Chapter 1
- 第2週 Chapter 2
- 第3週 Chapter 3
- 第4週 Chapter 4
- 第5週 Chapter 5
- 第6週 Chapter 6
- 第7週 Chapter 7
- 第8週 Chapter 8
- 第9週 Chapter 9
- 第10週 Chapter 10
- 第11週 Chapter 11
- 第12週 Chapter 12
- 第13週 Chapter 13
- 第14週 Chapter 14
- 第15週 期末テスト

【教科書】

A Scientific Approach to Current Topics (三修社) by Yasuhiro Ichikawa
DUO select (アイシーピー)

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験・小テスト・学習態度・出席状況・提出物等を総合的に判断して評価します。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
英和辞典を必ず持つてくること。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

【授業キーワード】

読解、語彙、英英辞典、音読

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。様々なトピック(月曜「科学や文化」又は木曜「社会、文化、自然」)に関する文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)や英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

【授業項目】

第1週	Introduction
第2週	英英辞典の活用法
第3週	Unit 1: American Campus Portraits
第4週	Unit 2: "Change It Please": In College and in Debt
第5週	Unit 3: Top Athletes on Tiptoe
第6週	Unit 4: Don't Mess with Stress
第7週	Unit 5: "Batter Up!": Baseball American and Japanese Style
第8週	Unit 6: The History of English
第9週	Unit 7: Sound Sculptures
第10週	Unit 8: Reading a Masterpiece
第11週	Unit 9: Hairy Heroes and Furry Friends
第12週	Unit 10: Extinct Is Forever
第13週	Unit 11: Ecotourism: From Mild to Wild
第14週	Unit 12: Animal Play: It's Not Just Fun and Games
第15週	Final Exam

【教科書】

- (1) The Powerful Reader, Beth M. Pacheco and Joan Young Gregg, Macmillan Languagehouse
- (2) Word Power 3000, L. A. Hill, Oxford University Press
- (3) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度--30%、小テスト--20%、最終試験--50%

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aims of this course are:-to increase student recognition of technical vocabulary they will need for future study - to increase students fluency in the 4 skill areas - to provide students with techniques which they can use independently to improve their English listening skills - to encourage the students to use the internet in English

【授業内容及び授業方法】

In this class we will get practice answering content questions based on high interest science and technology segments from various Discovery Channel programs. Topics will include technology in the future, space and the environment. We will Othello games to practice new vocabulary. We will use timed pair conversations and topic writing, songs, and short stories to increase fluency.

【教科書】

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

【成績の評価方法と評価項目】

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% - a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

【留意事項】

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

【担当教員】

古川 登美子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
furukawa@duck.niigataum.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、辞書の引き方、英文の読解技能 (skimming/scanning) を習得する。基本的な文法事項はテキストの内容読解に必要なが生じた時点で取り上げて練習する(過去形、進行形、助動詞、不定詞、接続詞、関係詞等)。(2) 聞くことに関しては、基礎的な文型を使った日常生活の話題をトピックスとした対話や説明を聞く。(3) 話す、書く技能については、Readingの内容に関連した対話と書き取りを毎時間行って習熟を図る。

【教科書】

- (1) Read All About It (OUP)
- (2) Listen For It (OUP)

【成績の評価方法と評価項目】

出席10%、授業中の活動への積極的な取り組み10%、予習10%、小テスト10%、中間・試験60%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、文法事項(進行形、完了形、受動態、不定詞、分詞、動名詞、仮定法等)の再確認を行う。(2) 読む技能については、教科書の練習問題をとおして、簡単な内容の文章であれば文字を見なくても、内容をおおよそ理解できるよう訓練をする。また、随時平易な内容であるが、自然に話されたニュースの書き取りを行う。(3) 話す、書く能力については、簡単な自己紹介を行うことにより学習する。

【教科書】

オンラインで学ぶVOAライフ系総合英語(松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割となる。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学・経営情報1号棟509

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

1. 名詞句の機能(1.5回)
2. 直接疑問 vs. 間接疑問(1.5回)
3. 完了時制と進行形(1回)
4. 関係詞(3回)
5. 不定詞(3回)
6. 分詞(3回)
7. 動名詞(1回)

【教科書】

小中秀彦: 大学生のための基礎英文法, 成美堂(授業用)
登美博之: 語順が身につく英作文(レポート用)
プリント(レポート用)

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-40%, 小テスト-20%, 各自が作成する単語帳からのテスト-20%, レポート-20%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。単語帳の Format については、最初の授業で指示する。

【担当教員】

村上 直久

【教員室または連絡先】

化学・経営情報棟506号

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

先端科学技術の光と影の部分を取ったエッセイの英文を読む。また、毎回の授業の初めに簡単なリスニング・テストを行う。

【教科書】

Beyond Tomorrow
Science looks at the future
未来を知る科学のヒント
発行所 南雲堂

【成績の評価方法と評価項目】

評価点は期末に行う①教科書本文の和訳(辞書使用不可)、②応用問題として先生が選ぶ科学読み物の和訳(辞書使用可)と③リスニング・テストの合計とし、割合は①が50%、②が25%、③が25%とする。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

The first half of this course, topics and themes that are of interest to students will be provided. The topics which are particularly interesting to students will be identified. Students must then start a project on their chosen topic to improve.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based in large part on general participation in the class.

【留意事項】

Placement Test により、受講クラスが決定される。

【担当教員】

田中 章

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

前期 第3, 8, 9章

後期 第11, 15, 19章

【教科書】

瀬谷 幸男/高津 昌宏/平井 清子/和治元 義博/デイビッド・ブルックス(共著)「明日を拓く科学の夢」南雲堂

【成績の評価方法と評価項目】

本試験の点数と平常点を加味する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
予習を必ずやってくること。辞典を持参すること。

【担当教員】

早川 正子

【教員室または連絡先】

語学センター事務室

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週－第14週

To read, listen, talk about, and write about a variety of scientific articles from newspapers, periodicals, etc.

第15週 期末試験

【教科書】

購入は不要。毎回プリント教材を配布する。

【参考書】

毎回、辞書を必ず持参すること。

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の小テスト 50%

期末試験 50%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

隅田 朗彦

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

高橋 美智子

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

第1週 Introduction,
第2週 Lesson 1
第3週 Lesson 2
第4週 Lesson 3
第5週 Lesson 4
第6週 Lesson 5
第7週 Lesson 6
第8週 中間テスト
第9週 Lesson 7
第10週 Lesson 8
第11週 Lesson 9
第12週 Lesson 10
第13週 Lesson 11
第14週 Lesson 12
第15週 期末テスト

【教科書】

LISTEN AND WRITE (南雲堂) by Jim Knudsen

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験・小テスト・学習態度・出席状況・提出物等を総合的に判断して評価します。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。
英和辞典を必ず持ってくること。

【担当教員】

Haga Lori (羽賀ロリー)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

沼屋 希夫

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

読解力及び語彙力の養成を図る。英英辞典の活用法を習得する。音読の練習も行う。

【授業キーワード】

読解、語彙、英英辞典、音読

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点をおく。4つのテーマ(文化横断的視点、アメリカ人の生活様式、環境問題、動物)について、それぞれ3つの文章を読む。併せて、語彙問題集(サブテキスト)と英英辞典を活用し、読解の前提になる語彙力の増強を図る。

【授業項目】

第1週	Introduction
第2週	英英辞典の活用法
第3週	Unit 1: The East Dresses the West
第4週	Unit 2: Culture Connections and Language Loss
第5週	Unit 3: The Impressionists
第6週	Unit 4: A Wallflower's Story
第7週	Unit 5: "Family Values"
第8週	Unit 6: "We, The People"
第9週	Unit 7: The Hamburger and the Rain Forest
第10週	Unit 8: Doing Well by Doing Good
第11週	Unit 9: Smoke Gets in Your Eyes
第12週	Unit 10: Hamlet, the Homeless Dog
第13週	Unit 11: Species That Run for Their Lives
第14週	Unit 12: An Ancient Cabinet of Curiosities
第15週	Final Exam

【教科書】

- (1) The Powerful Reader Basic, Beth M. Pacheco and Joan Young Gregg, Macmillan Languagehouse
- (2) Word Power 3000, L. A. Hill, Oxford University Press
- (3) Oxford Wordpower 英英辞典, Oxford University Press / 増進会出版社

【成績の評価方法と評価項目】

出席・授業への貢献度--30%、小テスト--20%、最終試験--50%

【担当教員】

Ota Angela (太田アンジェラ)

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

The aims of this course are: - to increase student recognition of technical vocabulary they will need for future study - to increase students fluency in the 4 skill areas - to provide students with techniques which they can use independently to improve their English listening skills - to encourage the students to use the internet in English

【授業内容及び授業方法】

In this class we will get practice answering content questions based on high interest science and technology segments from various Discovery Channel programs. Topics will include technology in the future, space and the environment. We will Othello games to practice new vocabulary.

We will use timed pair conversations and topic writing, songs, and short stories to increase fluency.

【教科書】

<教科書・参考文献>

Text to be announced

Other materials: English/Japanese and Japanese/English Dictionaries

Notebook

Computer access

Blank cassette tape

【成績の評価方法と評価項目】

Weekly quizzes 20%

Class group/pair work 20%

Self evaluation & participation 20%

Final exam 20%

Homework assignments 20% - a pass can not be achieved if no assignments have been submitted

【留意事項】

Please be advised that being late, or missing classes means you miss class marks for quizzes, group work and participation.

【担当教員】

古川 登美子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
furukawa@duck.niigataum.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

読解力の養成。英文構造、段落構成等を正確に理解することにより、的確な意味情報を把握する。

【授業キーワード】

読解、文法構造、段落構成、語彙

【授業内容及び授業方法】

4技能(聞く、話す、読む、書く)を総合的に学習するコースであるが、特に「読む」に力点がおかれる。この「読む」ための基礎力養成をめざして、語彙、文法構造、パラグラフリーディング等を学習する。これらの基礎力の定着をはかるために、他の3技能も併せて養成する。

【授業項目】

(1) 読む技能に関しては、パラグラフリーディングの習得を目標とする。文法事項については、受身、完了形、関係詞、重文、複文を必要に応じて補強する。(2) 聞くことに関しては、テキスト本文の語句・短文の書き取りを行う。(3) 話す、書く技能については、テキストのダイアログを基にペアで対話練習を行う。

【教科書】

Critical Insight on Contemporary Issues (成美堂)

【成績の評価方法と評価項目】

中間・期末出席10%、授業中の活動への積極的な取り組み10%、予習10%、小テスト10%試験60%

【留意事項】

Placement Testにより、受講クラスが決定される。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503

【授業目的及び達成目標】

簡単な内容の文章であれば、おおよその文の構造が理解でき、またそれを基におおよその内容を聞き取ることができるようにする。

【授業キーワード】

文法項目理解、聞き取り、内容把握

【授業内容及び授業方法】

いわゆる総合教材を用い、最初簡単な内容の文章を読む。その後その内容に対するさまざまな種類の質問に答え、またその課に出てきたいくつかの単語の意味、使い方を学ぶ。最後に内容に関する書き取りを行う。

【授業項目】

- 1課 Sharks: Useful Hunters of the Sea
- 2課 A Brief History of Horses with Humans
- 3課 Learning a Second Language
- 4課 Food and Culture
- 5課 The Importance of Exercise for Children
- 6課 The New York City Marathon: A World Race
- 7課 Margaret Mead: The World Was Her Home
- 8課 Louis Pasteur: A Modern-Day Scientist
- 9課 The Origin of the Moon
- 10課 Maps: The Keys to Our World
- 11課 Saving Lives with Weather Forecasting
- 12課 Clues and Criminal Investigation

【教科書】

Themes for Today (松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学・経営情報 1号棟 509

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポートも課される。更に、学生それぞれが各自の単語帳を作成する。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞(2回)
3. 過去分詞の意味(2回)
4. 不定詞の意味(2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味(2回)
6. 完了時制(1回)
7. 語順のまとめ(2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む)(3回)

【教科書】

随時, プリントを配布する。

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-50%, 小テスト-20%, 単語帳からのテスト-20%, レポート-10%
最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受けるためには、実授業数の4/5以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。

【担当教員】

村山・ドライヤー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of interest to students. I expect students to help me identify topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of interest to students. I expect students to help me identify topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.

【担当教員】

鞍掛 哲治

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

TOEICの問題を通して、基本的なリスニング、文法、読解力の養成を計る。また、TOEICの問題、並びに問題形式に慣れるようにする。さらに、基本的な語彙力が不足している学生が多いので、語彙力のアップを目指す。この授業終了時には、TOEICの点数が450以上になることを目標とする。

【授業キーワード】

TOEIC, Listening, Grammar, Vocabulary
Reading Skills

【授業内容及び授業方法】

テキストは、リスニング・文法・読解の演習問題から構成されている。各自、それらの問題を予習として解き、授業中はそれらの確認を行ってもらいたい。また、毎回授業の最初に単語・宿題テストを実施するので、準備を怠らないよう希望する。

【授業項目】

第1回	Introduction, TOEICの小test(1)	
第2回	教科書(1章) Listening 現在の動作	Reading 動詞と名詞
第3回	教科書(2章) Listening 状況描写	Reading 形容詞と副詞
第4回	教科書(3章) Listening 位置関係	Reading 前置詞と冠詞
第5回	教科書(4章) Listening 一般疑問文	Reading 接続詞と関係詞
第6回	教科書(5章) Listening 特殊疑問文	Reading 主語と動詞の一致
第7回	教科書(6章) Listening 肯定文その他	Reading 動詞の語法と準動詞
第8回	教科書(7章) Listening 話題/提案	Reading 助動詞と時制・仮定法
第9回	教科書(8章) Listening 場面・職業	Reading 冠詞と数の概念
第10回	教科書(9章) Listening 現在の動作	Reading 動詞と名詞
第11回	教科書(10章) Listening 現在の動作	Reading 動詞と名詞
第12回	教科書(11章) Listening 広告・宣伝	Reading 手紙・FAX・メモ
第13回	教科書(12章) Listening 講義・会議	Reading 記入用紙・統計資料
第14回	TOEICの模擬test(1)	
第15回	TOEICの模擬test(2)	

【教科書】

「Operation TOEIC Master」(松柏社) by 石井隆之他 1700円(外税)

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の単語・宿題テスト(80%)と、class participation(20%)に基づいて評価する。

*試験実施方法及び評価基準について

1. 単語・宿題テストは、TOEICに倣ってマークシートを用いて実施する。このテストの平均点が79点以下の学生は、単位の認定を行わない。
2. 欠席が授業回数の3分の1以上の学生は、単位の認定を行わない。

【留意事項】

1. 追試の実施やレポート等の提出はありません。
2. 質問等は、授業終了後のみ受け付けます。
3. TOEIC Japanの公式ページ <http://www.toEIC.or.jp/index.html> です。

【担当教員】

近藤 多香子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
takako@nagaoka-ct.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

最近マスメディアで取り上げられている身近な話題を扱った科学評論を読みながら、英文の読解力養成を図る。また基本的な語彙の定着を目指す。

【授業キーワード】

読解力養成

【授業内容及び授業方法】

授業は1週1章のペースで進める。各章は本文とExercisesから構成されている。予習時には本文の読解に加えてPre-reading Task, Exercises の1と2をかかさず解き、授業に臨むこと。また各回の授業始めに、前回の章で扱った語彙を問う小テストを実施する。

【授業項目】

- 第1週 Introduction, Chapter 1
- 第2週 Chapter 2
- 第3週 Chapter 4
- 第4週 Chapter 5
- 第5週 Chapter 6
- 第6週 Chapter 9
- 第7週 中間試験
- 第8週 中間試験の解説、Chapter 10
- 第9週 Chapter 13
- 第10週 Chapter 14
- 第11週 Chapter 15
- 第12週 Chapter 16
- 第13週 Chapter 17
- 第14週 Chapter 18
- 第15週 期末試験

【教科書】

BREAKTHROUGH - Expanding the Boundaries of Science by Yukio Seya and others (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

中間・期末試験(30%×2=60%)、小テスト(20%)、平常点(20%)

試験実施方法および評価基準について

- ・定期試験は中間と期末の2回実施する。範囲は前回までの授業の中から出題する。教科書、辞書等の持込は許可しない。
- ・欠席が授業回数(15回)の3分の1以上、または中間・期末試験のいずれかを受験しなかった学生の評価は59点以下とする。

【留意事項】

評価は上記の通り。追試等はありません。

【担当教員】

村山 康雄

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟503

【授業目的及び達成目標】

簡単な内容の文章であれば、おおよその文の構造が理解でき、またそれを基におおよその内容を聞き取ることができるようにする。

【授業キーワード】

文法項目理解、聞き取り、内容把握

【授業内容及び授業方法】

いわゆる総合教材を用い、最初簡単な内容の文書を読む。その後その内容に対するさまざまな種類の質問に答え、またその課に出てきたいくつかの単語の意味、使い方を学ぶ。最後に内容に関する書き取りを行う。

【授業項目】

- 1課 Sharks: Useful Hunters of the Sea
- 2課 A Brief History of Horses with Humans
- 3課 Learning a Second Language
- 4課 Food and Culture
- 5課 The Importance of Exercise for Children
- 6課 The New York Marathon: A World Race
- 7課 Margaret Mead: The World was Her Home
- 8課 Louis Pasteur: A Modern-day Scientist
- 9課 The Origin of the Moon
- 10課 Maps: The Keys to Our World
- 11課 Saving Lives with Weather Forecasting
- 12課 Clues and Criminal Investigation

【教科書】

Themes for Today (松柏社)

【成績の評価方法と評価項目】

出席、授業への積極的な参加、宿題が3割、中間、期末試験が7割とする。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学・経営情報 1 号棟 509

【授業目的及び達成目標】

英文理解に不可欠である6つの文法概念と基本的な文法事項の把握を目指す。特に、科学文献に多用される準動詞表現がもつ特有の意味を勉強し、これを出発点として使える英語の知識、ここでは正確に意味をとる能力を育成する。

【授業キーワード】

Block 概念, 完了時制, 準動詞, 関係詞

【授業内容及び授業方法】

名詞機能を吟味することにより、英文における名詞 Block を画定する能力を養成する(自動詞 vs. 他動詞)。これを基礎として、関係代名詞と関係副詞との関係を理解する。これらの項目は、英文構造理解の出発点となるものである。次に名詞 Block 内部の構造を理解し、更に既に勉強した名詞 Block 画定能力を発展させるために、準動詞(特に過去分詞)の意味が考察される。この学習によって、動詞の過去形と過去分詞形の区別等が明瞭となる。

意味そのものについて考え、極力日本語に訳すことはしない(日本語訳等は、レポートで提出してもらう)。毎回学習事項に関する小テストが実施され、レポートも課される。更に、学生それぞれが各自の単語帳を作成する。

【授業項目】

1. 名詞 Block (1回)
2. 関係詞 (2回)
3. 過去分詞の意味 (2回)
4. 不定詞の意味 (2回)
5. 現在分詞, 動名詞の意味 (2回)
6. 完了時制 (1回)
7. 語順のまとめ (2回)
8. 部分英訳による総合演習(最終試験を含む) (3回)

【教科書】

随時、プリントを配布する。

【参考書】

James H. M. Webb: 日本人に共通する英語のミス121
, The Japan Times

【成績の評価方法と評価項目】

最終試験-50%, 小テスト-20%, 単語帳からの試験-20%, レポート-10%

最終試験は、部分英訳の形で行う。最終試験を受験するためには、実授業数の 4/5 以上の出席が必要となる。

【留意事項】

これまであまり文法・構文を勉強していない学生は、是非とも受講するように。必須と思われる文法事項を、これまでとは違ったより分かりやすい形で勉強する。毎時間、英和辞典を持参するように。

【担当教員】

村山・ドライアー

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a dicussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of student interests. I expect students to help me identifying topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

Focus of this course will be reading and speaking. Provisionally, a discussion format will be used. Students will be expected and encouraged to participate in sharing their opinions of topics (of scientific topics?) that are of student interests. I expect students to help me identifying topics they want to talk about.

【授業項目】

Specific activities—some of which will serve as additional assessment vehicles—are likely to include, but not limited to, TOEIC-based quizzes (which may serve a secondary purpose of preparing students to take the test); argumentative or persuasive discourse (in the form of both oral debate and written essays); student-authored role-plays; and student presentations.

【成績の評価方法と評価項目】

Assessment will be based in large part on participation in class-wide debates.

【担当教員】

鞍掛 哲治

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

TOEICの問題を通して、基本的なリスニング、文法、読解力の養成を計る。また、TOEICの問題、並びに問題形式に慣れるようにする。さらに、基本的な語彙力が不足している学生が多いので、語彙力のアップを目指す。この授業終了時には、TOEICの点数が450以上になることを目標とする。

【授業キーワード】

TOEIC, Listening, Grammar, Vocabulary
Reading Skills

【授業内容及び授業方法】

テキストは、リスニング・文法・読解の演習問題から構成されている。各自、それらの問題を予習として解き、授業中はそれらの確認を行ってもらいたい。また、毎回授業の最初に単語・宿題テストを実施するので、準備を怠らないよう希望する。

【授業項目】

第1回	Introduction, TOEICの小test(1)	
第2回	教科書(1章) Listening 現在の動作	Reading 動詞と名詞
第3回	教科書(2章) Listening 状況描写	Reading 形容詞と副詞
第4回	教科書(3章) Listening 位置関係	Reading 前置詞と冠詞
第5回	教科書(4章) Listening 一般疑問文	Reading 接続詞と関係詞
第6回	教科書(5章) Listening 特殊疑問文	Reading 主語と動詞の一致
第7回	教科書(6章) Listening 肯定文その他	Reading 動詞の語法と準動詞
第8回	教科書(7章) Listening 話題/提案	Reading 助動詞と時制・仮定法
第9回	教科書(8章) Listening 場面・職業	Reading 冠詞と数の概念
第10回	教科書(9章) Listening 現在の動作	Reading 動詞と名詞
第11回	教科書(10章) Listening 現在の動作	Reading 動詞と名詞
第12回	教科書(11章) Listening 広告・宣伝	Reading 手紙・FAX・メモ
第13回	教科書(12章) Listening 講義・会議	Reading 記入用紙・統計資料
第14回	TOEICの模擬test(1)	
第15回	TOEICの模擬test(2)	

【教科書】

「Operation TOEIC Master」(松柏社) by 石井隆之他 1700円(外税)

【成績の評価方法と評価項目】

毎回の単語・宿題テスト(80%)と、class participation(20%)に基づいて評価する。

*試験実施方法及び評価基準について

1. 単語・宿題テストは、TOEICに倣ってマークシートを用いて実施する。このテストの平均点が79点以下の学生は、単位の認定を行わない。
2. 欠席が授業回数の3分の1以上の学生は、単位の認定を行わない。

【留意事項】

1. 追試の実施やレポート等の提出はありません。
2. 質問等は、授業終了後のみ受け付けます。
3. TOEIC Japanの公式ページ <http://www.toEIC.or.jp/index.html> です。

【担当教員】

近藤 多香子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
takako@nagaoka-ct.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

最近マスメディアで取り上げられている身近な話題を扱った科学評論を読みながら、英文の読解力養成を図る。また基本的な語彙の定着を目指す。

【授業キーワード】

読解力養成

【授業内容及び授業方法】

授業は1週1章のペースで進める。各章は本文とExercisesから構成されている。予習時には本文の読解に加えてPre-reading Task, Exercises の1と2をかかさず解き、授業に臨むこと。また各回の授業始めに、前回の章で扱った語彙を問う小テストを実施する。

【授業項目】

- 第1週 Introduction, Chapter 1
- 第2週 Chapter 2
- 第3週 Chapter 4
- 第4週 Chapter 5
- 第5週 Chapter 6
- 第6週 Chapter 9
- 第7週 中間試験
- 第8週 中間試験の解説、Chapter 10
- 第9週 Chapter 13
- 第10週 Chapter 14
- 第11週 Chapter 15
- 第12週 Chapter 16
- 第13週 Chapter 17
- 第14週 Chapter 18
- 第15週 期末試験

【教科書】

BREAKTHROUGH - Expanding the Boundaries of Science by Yukio Seya and others (南雲堂)

【成績の評価方法と評価項目】

中間・期末試験(30%×2=60%)、小テスト(20%)、平常点(20%)

試験実施方法および評価基準について

- ・定期試験は中間と期末の2回実施する。範囲は前回までの授業の中から出題する。教科書、辞書等の持込は許可しない。
- ・欠席が授業回数 $\frac{1}{3}$ 以上、または中間・期末試験のいずれかを受験しなかった学生の評価は59点以下とする。

【留意事項】

評価は上記の通り。追試等はありません。

【担当教員】

石岡 精三

【教員室または連絡先】

化学・経営情報 1号棟 509

【授業目的及び達成目標】

科学技術論文読解への導入として、すでに把握できている専門的な内容を英語を通じて学習する。文法・構文に関するさらなる理解と基本単語と専門語彙の習得により、英語論文を正確に読むための基礎力を養成する。

【授業キーワード】

英文構造, 化学英語, 科学技術英語

【授業内容及び授業方法】

専門の教官と英語教官が共同で行う授業で、化学に関する基礎的な内容を表す英文をテキストとして用いる。最初に、専門の教官が日常語彙を含め重要な単語の意味と発音を提示し、テキスト内容に関する簡単な導入を行う。単語テストが行われる。次に、英語教官が文法上・語法上の Point を簡潔に説明し、演習によって要点を再確認する。語法テストが行われる。さらに、学習事項を含む新たな英文を部分作文(虫食い)によって完成する。

当初は比較的短い英文を用い、極力全文訳を検討する。学習の進行につれて、問題となる箇所のみを検討を加え、多読を目指す。全文訳をレポートとして提出してもらうこともある。

学生それぞれが、各自の単語帳を作成する(書式は、最初の授業で提示する)。各自の単語帳に基づく単語試験も実施される。

【授業項目】

1. 発音と発音記号(0.5回)
2. 名詞 Block(1.5回)
3. 疑問文構造(直接疑問 vs. 間接疑問)(1回)
4. 後置修飾(1)(形容詞だけでなく、分詞の意味・用法も含まれる)(2回)
5. 分詞表現と関係詞(3回)
6. 復習(1回)
7. It を用いた強調構文(1回)
8. To 不定詞の意味と用法(3回)
9. 動名詞の意味と用法(特に、前置詞の目的語として)(1回)
10. 後置修飾(2)(To 不定詞が用いられる場合)(1回)

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

奥津 文夫: 日本人の間違いやすい英語表現、三修社

【成績の評価方法と評価項目】

単語テスト-20%、語法テスト(虫食いによる英文完成を含む)-30%、レポート・宿題-10%、単語帳からの単語試験-20%、最終試験-20%。

【留意事項】

化学系の学生が優先して受講できる。
毎回、英和辞典を持参するように。

【担当教員】

石崎・ドライアー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

Mechanical Engineering—It is expected that collaboration between the two team-teaching instructors will be organized more or less along the following lines: The Japanese native speaker will take the lead in presenting and teaching factual information of importance in understanding the subject of mechanical engineering. For his part, the English native speaker will seek out and present to students examples of practical English-language usage in this field. These might include, for example, articles concerned with key topics and advertisements in which important terminology is given practical application. Students will be provided, as well, with both advice from the instructor and opportunities to engage in self-guided attempts to induce general rules of language usage in the field of mechanical engineering—e.g., the appropriate use of particular verbs; the role of the passive voice in describing experiments; etcetera. Finally, students will be encouraged to describe—both orally and in writing—the content of ongoing research and experiences in the field. Every effort will be made to find a forum for students to post or publish their writing, possibly in an on-line journal.

【担当教員】

石岡・ドライアー

【教員室または連絡先】

未定

【授業目的及び達成目標】

Environmental Studies-It is expected that collaboration between the two team-teaching instructors will proceed along the following lines: The Japanese native speaker will take the lead in presenting and teaching factual information of importance in understanding the field of environmental studies. For his part, the English native speaker will present students with a number of readings-and possibly video programs-in which important issues related to environmental concepts are considered. Students will be challenged to consider applications and implications of environmental concepts, as well as governmental and organizational policies. They will also be asked to consider, and re-consider, the basic assumptions and philosophical bases that underpin human actions relative to the environment. Thus, readings will include not only descriptions of current problems such as, e.g., global warming or deforestation, but also essays in which authors delineate ways of thinking about our relationship with the natural world.

【担当教員】

Valerie. McGown (ヴァレリー マクガウン)

【教員室または連絡先】

化学経営情報1号棟404

【授業目的及び達成目標】

経営情報システムおよびビジネス関連の専門用語の獲得、専門分野の英語文献の読解と、それについての英語でのディスカッションに積極的に参加できるようになることを目的とする。

【授業キーワード】

専門用語、専門分野の英語文献、英語でのディスカッション

【授業内容及び授業方法】

経営情報システム系教官によるTeam Teaching。
経営情報システムおよびビジネス関連の英語文献をもとに、その言葉づかい、表現の仕方に注目して、英語の理解力を高め、それをディスカッションに生かす。

【教科書】

未定

【参考書】

関連する学術論文、新聞・経済誌の記事を教材として適宜配布する。

【留意事項】

もうかなりの英語力をもって、それをさらに伸ばしたい学生のためのadvanced courseである。Class size will be limited to 15 maximum based on an interview and a reading exercise conducted during the first class with the teachers.

【担当教員】

古川 登美子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
furukawa@duck.niigataum.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

建設関連の英語文献の読解を通して、専門に関する語彙や文法事項に習熟する。建設関連の文献内容についてのプレゼンテーションを英語で行う技能を身に付ける。

【授業キーワード】

建設関連英語文献、読解、プレゼンテーション、ティーム・ティーチング

【授業内容及び授業方法】

建設系教官と英語教官との2名が同一授業に参加する。学習者は建設関連の文献をテキストに、学習補助シート(語彙リスト、使いこなすべき文法事項)に解答しながら読解する。その時間に読み進めた部分についての要約文を英語で宿題として毎週提出する。その要約文を基に毎時間グループでプレゼンテーションを行う。学習内容が進み英語表現技能も高まった段階で、自分で選択した内容についての全体プレゼンテーションを行う予定である。

【授業項目】

第1時間目に担当者から説明・配布する。

【教科書】

建設関連の英語文献

【参考書】

必要に応じて授業時に紹介する。

【成績の評価方法と評価項目】

宿題の提出と普段の授業への参加度30%、プレゼンテーション30%、定期テスト40%